

週間市場レポート (2020年3月30日~4月3日)

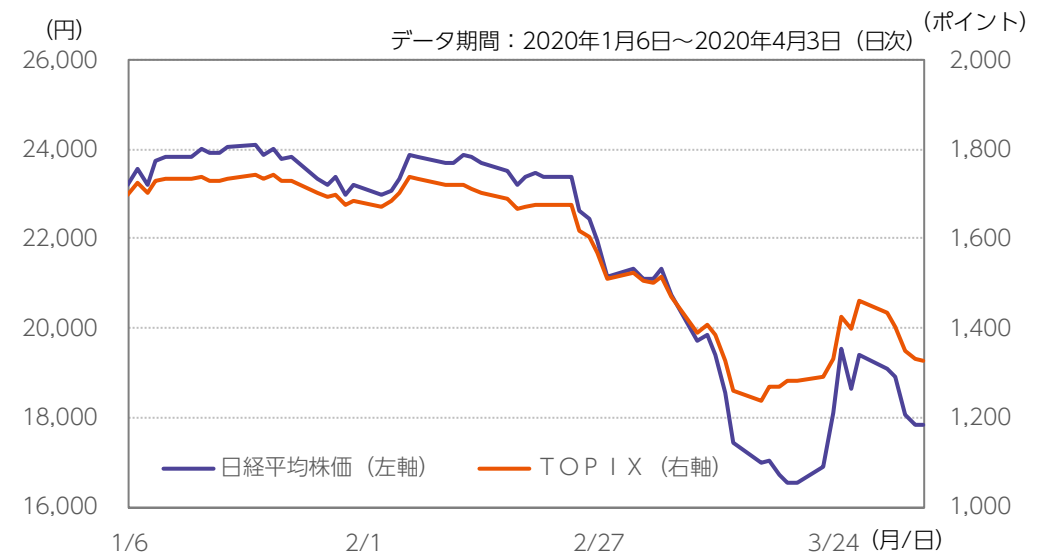
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/3/27	先週末 2020/4/3	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		19,389.43	17,820.19	▲ 8.09 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,459.49	1,325.13	▲ 9.21 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		21,636.78	21,052.53	▲ 2.70 ↓
S&P500種指数		2,541.47	2,488.65	▲ 2.08 ↓
ユーロ・ストックス50指数		2,728.65	2,662.99	▲ 2.41 ↓
S&P/ASX300指数		4,798.19	5,021.39	4.65 ↑
上海総合指数		2,772.20	2,763.99	▲ 0.30 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		697.27	690.92	▲ 0.91 ↓
東証REIT指数		1,541.74	1,436.37	▲ 6.83 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		593.43	546.02	▲ 7.99 ↓
ASX300 REIT 指数		956.00	1,002.00	4.81 ↑
グローバルREIT (除く日本)※		142.43	129.78	▲ 8.88 ↓
日本10年国債 (%)		0.02	▲ 0.01	▲ 0.03 ↓
米国10年国債 (%)		0.67	0.59	▲ 0.08 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.47	▲ 0.44	0.03 ↑
英国10年国債 (%)		0.37	0.31	▲ 0.06 ↓
ドル/円		107.94	108.55	0.57 ↑
ユーロ/円		120.29	117.13	▲ 2.63 ↓
英ポンド/円		134.34	133.22	▲ 0.83 ↓
豪ドル/円		66.54	65.06	▲ 2.23 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,488.75	1,443.04	▲ 3.07 ↓
WTI原油先物 (ドル)		21.51	28.34	31.75 ↑
CRB指数		123.88	127.96	3.29 ↑
アレリアンMLP指数		461.98	496.48	7.47 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受け、経済停滞が長期化すると警戒感が強まったことから週初より4営業日続落となりました。週末は、トランプ米大統領がサウジアラビアとロシアの原油減産の合意を示唆したことを背景に、前日の米国株式市場が上昇した流れを受け小反発となったものの、週間では前週末比で下落となりました。



※1月3日は休場のため、日本株式市場および日本債券市場のグラフは2020年1月6日より掲載。

≪ 債券 ≫

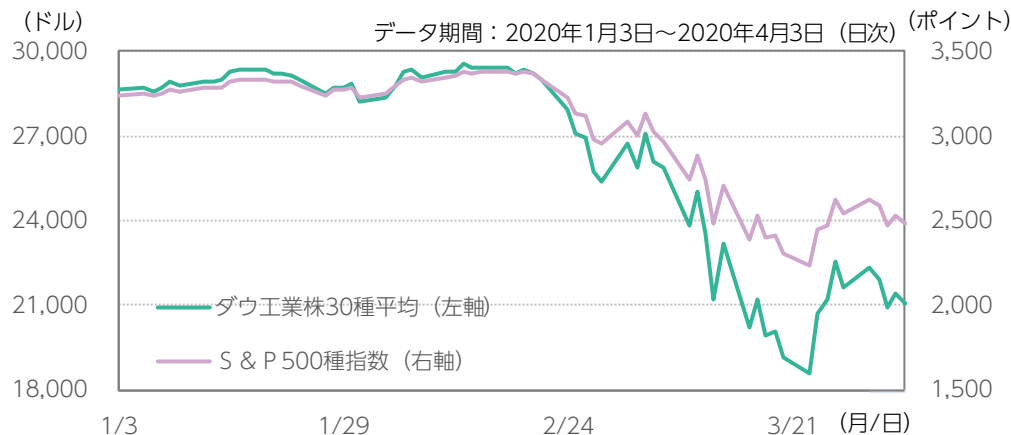
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下しました。
 新型コロナウイルス感染者数増加を受け、景気先行き懸念への警戒から相対的に安全資産とされる債券は買いが優勢となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

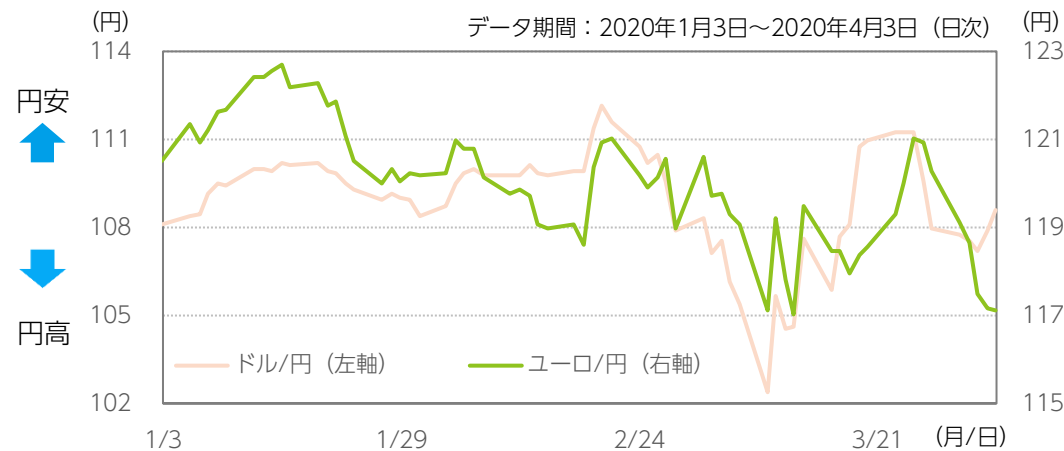
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落しました。
 良好な米経済指標を受け、週前半は一時上昇する場面もあったものの、新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けたグローバルなリスク回避姿勢は根強く、週間では前週末比で下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
 新型コロナウイルスの感染拡大から円は買いが優勢となる一方、原油価格の持ち直しにより米ドルが上昇したことを受け、週間では円安米ドル高となりました。また、欧州の経済指標の悪化から欧州景気の減速懸念が高まり、円高ユーロ安が進行しました。



5) 今週の見通しについて

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は続いており、終息の兆しは見られていません。感染拡大を受けて経済停滞が長期化すると警戒感から、先週の株式市場は日米両市場ともに下落となりました。

世界における新型コロナウイルスの感染者数が100万人を超えるなど、感染拡大が継続しています。日本国内の感染者数は、都市部を中心に増加を続けており、感染拡大に歯止めがかからなければロックダウン（都市封鎖）や政府による緊急事態宣言の可能性もありそうです。

今後、公表される経済指標には新型コロナウイルスの影響がみられると想定され、实体经济への悪影響が改めて認識されると考えられます。主要国が協調した経済対策などの効果が現れ始めるまで、株式市場は日米両市場ともに不安定な値動きが続くものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>